

20 建管 第 90号
平成20年10月16日

国土交通省道路局長 様

江別市長 三好 昇



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

記

このことにつきまして、別紙のとおり回答いたしますのでよろしくお願いいたします。

担当部署
江別市建設部管理課
電話 011-381-1036

今後の道路行政についての意見・提案

様式①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など(1/2)

北海道江別市

1 ネットワークの戦略的整備活用について

北海道は、広域分散型の地域構造のため都市間距離が長く、人流も物流も自動車交通を利用する割合が極めて高い地域となっており、地域の人々にとって、高い水準の規格で整備された道路に対する期待は、本州等のそれとは比較にならない程、大きなものがあります。

地域の経済的発展のみならず、医療・教育・福祉といった分野における地域間のアクセス手段として、施設密度が低く、施設利用のためには自動車交通に依存せざるをえない北海道において、道路は文字通り命をつなぐ生命線の役割を担っています。

夏季はもとより、冬季は雪と氷に覆われる北海道においては、年間を通じて安心して利用できる高い規格の道路の整備が必要とされるところであります。

このため、効率的な道路ネットワークの整備が必要であります。

特に医療サービスの確保に向けた道路ネットワークの整備は、中枢・中核都市と地方都市の医療格差解消のためにも早期実現が望まれます。

当面、計画整備中又は、計画のある道央圏連絡道路、国道12号、275号、道道江別長沼線、江別恵庭線、大麻東雁来江線、札幌北広島環状線などの整備は、単に一都市だけの発展につながるものではなく、北海道の発展につながるものとして、早期完成を要望します。また、整備目標時期の公表も必要と考えます。

2 既存ストックの有効活用

高規格幹線道路は、長距離移動における高速サービスを提供するだけでなく、緊急医療搬送にも利用されていますが、十分にその機能を発揮しているとはいえない現状にあります。

弾力的な料金割引やスマートICの設置、周辺一般道との接続など、高規格幹線道路をより身近なものとし、既存ストックを利用しやすい環境の整備を望みます。

3 整備・再改築・維持管理費の共通負担について

一般国民の大多数は、国道、都道府県道のみではなく、自宅からの勤務などに市町村道を利用しており、また、物資輸送も、大半は市町村道を利用しております。

国土のインフラ整備は、国民共有の財産であり、市町村道の整備・再改築・維持管理費(除排雪費を含む。)への財源化も視野に入れ、進めていただきますよう要望いたします。

今後の道路行政についての意見・提案

様式①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など(2/2)

北海道江別市

4 安全・快適な道路空間の創出

高齢化社会の到来に向け、高齢者や障がい者など、誰もが安全で快適に移動できる歩行空間の創出は喫緊の課題になっていますが、電線類の地中化は、安全快適な通行空間の確保、都市災害の防止、良好な都市景観の創出等に大きく寄与するものです。

一方、電線類の地中化は、原因者である道路管理者の財政負担が大きい等の理由により、依然として立ち遅れている状況にあります。

このため、無電柱化推進のための財源の継続的確保や平成21年度概算要求における「無電柱化推進事業(仮称)の創設」については、積極的に取り組まれるよう要望いたします。

今後の道路行政についての意見・提案

②—1 地域の現状と抱える課題 (1/7)

様式②

北海道江別市

○現状

道央圏連絡道路(一般国道337号)

小樽市から新千歳空港へと5市3町を結ぶ延長約 80kmの国道であり、小樽市から札幌市の石狩川まで、約 14.8kmが4車線整備済となっており、石狩川から当別町の国道275号までが当別バイパス(15.4km)として、4車線整備済が 5.8km、暫定2車線が 9.6kmで供用開始されております。国道275号から江別市の市道美原14号道路まで、美原道路(8km)として、現在、整備行っていますおり、未供用であります。(内、H21年に約 2kmが、暫定2車線で供用開始予定。)

また、これに続く、美原バイパス(3.9Km)は、江別市の市道美原14号道路から国道12号まで区間で、暫定2車線で供用開始されております。

更に、国道12号から長沼町の国道274号までを長沼南幌道路(約 22km)として、現在、環境影響評価書を環境大臣へ送付したところであり、平成20年度内には、完了する予定と伺っております。続く、国道274号から千歳市の北海道横断自動車道まで、泉郷道路(8.2Km)は、現在、用地取得に着手中であり、一部橋梁等の工事も実施中であります。

また、北海道横断自動車道から千歳市の国道36号まで、新千歳空港関連(9.2Km)では、4車線整備済が 1.6km、暫定2車線整備が 0.9km となっており、約45%が通行可能な状況であります。

○課題

道央圏連絡道路(一般国道337号)

道路は起点から終点まで完成してこそ、その目的が果たされるものと考えております。

この道央圏連絡道路(一般国道337号)は、現状のとおり、暫定2車線での整備においても、主要国道の接続が実現していないことから、早期の整備を望む声が日々多くなっており、道路特定財源が一般財源となる場合においても、今後とも継続的に実施されることを、強く望むところであります。

また、当該道路は、本市が長年開発に取り組んでいる東インターチェンジ地区流通団地構想区域内を貫通しており、整備の目処が立つことにより、企業立地が促進される可能性があり、北海道経済への影響も大きなものがあると考えます。

今後の道路行政についての意見・提案

②—1 地域の現状と抱える課題 (2/7)

様式②

北海道江別市

○現状

一般国道12号

江別市域内では、交通量の増加等に伴う4車線化が昭和の時代から事業を進め、本年ようやく完成を見るところであります。

この間、市民の生活環境は大きく変化してきており、右記課題が発生しております。

一般国道275号

江別市の工業団地等に接し、また、現在整備中の道央圏連絡道路とも連絡することから、本市の産業振興に重要な役割を担う国道であります。

札幌市界から江別工業団地までが4車線化され、現在は市道篠津南9号から当別側で4車線化の事業が行われております。

その間に挟まれた3.5km 区間は、江別北道路として、渋滞の緩和、更には、吹雪等の雪害対策や冬季交通の安全確保のため、本年より4車線化に向けた事業に着手(調査設計業務)されたところであります。

○課題

一般国道12号

江別市域内でも、文京台地区における道路照明の不足や歩行者・自転車道路の整備、大麻駅南口の不法自転車駐輪対策、鉄南地区への右折レーンの渋滞緩和対策、条丁目地区のS字カーブ解消、江別防災ステーション前の電柱の地中化などの諸課題があり、これらの整備が必要となります。

道路特定財源が一般財源となるとしても、今後も上記等の課題を整理するための予算確保を強く望むところであります。

一般国道275号

現状における交通混雑や渋滞の緩和、更には、吹雪等の雪害対策や冬季交通の安全確保のためにも早期の4車線整備が必要です。

本年より4車線化に向けた事業に着手(調査設計業務)されたばかりであり、道路特定財源が一般財源となるとしても、今後も継続的な実施を強く望むところであります。

今後の道路行政についての意見・提案

②—1 地域の現状と抱える課題 (3/7)

様式②

北海道江別市

○現状

道道江別長沼線(南大通)

主要道道江別恵庭線と一般道道江別長沼線を結ぶバイパス線として、千歳川を横断する橋梁計画も含め、平成6年より整備を進め、概ね、1/2の約1kmが完成しておりますが、残りは、千歳川を横断する橋梁があることから、千歳川の河川整備計画が完成するまで、河川協議が出来ない状況でありました。

平成17年4月に千歳川河川整備計画が完成し、河川協議が進み、橋梁部の取付道路及び副道を含めた都市計画道路区域の変更が平成20年2月29日に決定告示され、現在、事業採択に向け、協議作業中であります。

道道江別恵庭線(角山8丁目)

国道275号線から江別市・北広島市・恵庭市さらには千歳市と連絡する幹線道路であります但歩道もなく、交通量が大変多く、特に大型車両の交通が増加傾向となっております。

また、整備区間内ある第2角山橋の前後は急カーブ線形状況であり、交通事故が多発しております。

このようなことから、4車線整備が急務となっております。

平成17年度より4車線化に向けた事業に着手し、本年は、用地買収、一部暫定盛土する予定と伺っております。

○課題

道道江別長沼線(南大通)

札幌圏域の地域住民は、地域高規格道路「道央圏連絡道路」と主要道道江別恵庭線を連絡する当市の鉄南地区の主要幹線道路で、近年の交通状況や環境対策、経済活動の支援の面からも、早期に基盤整備が求められている道路であることから、千歳川へ架かる橋梁も含め、計画区間全てにおいて、早期の着手が必要な路線です。

関係住民は、昭和48年の都市計画道路区域変更以降、常に、その早期整備を期待しておりましたが、自然災害であった昭和56年の大水害で、その計画が更に20年以上延期になっており、その整備に地元を含め、市としても大きな期待を寄せております。

道道江別恵庭線(角山8丁目)

交通安全対策上からも改良及び早期完成の必要があります。

事業中ではありますが、道路特定財源が一般財源となるにしても、今後とも継続的な実施を強く望むところであります。

今後の道路行政についての意見・提案

②—1 地域の現状と抱える課題 (4/7)

様式②

北海道江別市

○現状

道道大麻東雁来線(北回り)

4車線化された一般道道東雁来江別線と北海道縦貫自動車道江別西インターチェンジを結ぶものであり、札幌市東部地区及び江別市大麻地区から高速道路へのアクセスルートとして数多くの市民が利用している道路であります。現道の状況は用地幅員が狭小、かつ、線形も曲り角が多く直線的ではないため見通しが悪く、事故防止、渋滞緩和、環境対策、経済活動の支援などの面からも早期の整備が必要です。

このことから、整備を前提に、平成19年11月16日に都市計画道路として位置付けし、本年度より、用地確定測量、用地買収に着手しました。

道道札幌北広島環状線

この道道は、都市間連絡道路と位置付けられており、札幌市西区宮の沢の国道5号を起点に、江別市・北広島市に至る約53kmの路線(札幌市域内は約19km)として計画しております。既に北広島市から江別市の江別インター線までは完成しており、残区間の札幌市(豊平川)までの整備が急がれますとともに、江別第1、第2工業団地等における商工業の振興の効果的活用や、国道275号の交通渋滞緩和などに大きく寄与する道路であります。札幌市では、西区宮の沢の国道5号を起点に追分通まで6.2kmと、国道231号から札幌当別線までの茨戸福移通まで5.1kmは既に完成しており、現在は平成9年度に着工した札幌当別線ー福移沼端線間の福移沼端工区3kmについて拡幅改良工事を行っており、平成20年度に同工区の完了を予定。追分通から続く、花川通から国道231号までの屯田茨戸通4.5kmは平成19.3月に都市計画決定し、豊平川を横断する(仮称)札幌江別大橋の流況解析等を検討しております。

○課題

道道大麻東雁来線(北回り)

交通安全対策上からも改良及び早期完成の必要があります。

事業中ではありますが、道路特定財源が一般財源となることにしても、今後とも継続的に実施されるよう望むものであります。

道道札幌北広島環状線

札幌圏連絡道路の環状機能の強化により、放射状道路の負荷軽減を図るなど、札幌圏都市の連携を支える視点からも早期整備が必要な路線であり、既に江別市から北広島市までは完成しているため、残区間の札幌市までの整備が急がれますとともに、江別第1、第2工業団地等における商工業の振興の効果的活用や、国道275号の交通渋滞緩和などに大きく寄与する道路であります。

今後の道路行政についての意見・提案

②—1 地域の現状と抱える課題 (5/7)

様式②

北海道江別市

○現状

「江別の顔づくり事業」

江別市では、新しい中心市街地の形成を目的として、「連続立体交差事業」、「土地区画整理事業」及び「街路事業」を基幹事業とした江別の顔づくり事業を推進しています。

特に事業の中心となっているJR函館本線(野幌駅付近)連続立体交差事業(北海道)、野幌駅周辺土地区画整理事業(江別市)、中原通街路事業(北海道)については、いずれも道路整備特別会計による国庫補助を受けながら、平成18年度の事業着手以来、鋭意事業の進捗を図ってきているところがあります。

○課題

「江別の顔づくり事業」

都市交通の円滑化や地域活性化などの面からも、事業全体の早期完成が急務であります。道路特定財源の一般財源化に伴い、継続的な財源の確保が不透明となっていることから、継続的な実施を強く望むものであり、今後も着実な事業推進に支障が生じないか憂慮されます。

今後の道路行政についての意見・提案

②—1 地域の現状と抱える課題 (6/7)

様式②

北海道江別市

○ 現状（市道の整備）

市道大麻東駅通り

当該道路は、東大麻地区からJR大麻駅へアクセスする大麻団地の外郭幹線道路ですが、整備後40年余りが経過し、橋梁区間を含め老朽化が著しい状況にあります。加えて、駅利用者の歩行者・自転車通行量に対し現況歩道が狭く、交通安全面でも危険な状況にあるなど、改善が必要な現状になっています。

市道兵村4丁目通り

当該道路は、国道12号と工業団地を結ぶ地区幹線道路であり、沿道には中学校や地区センターがあるバス路線で、小学校の通学路にも指定されています。現状の交通量に対し、歩道、車道ともに幅員が不足しているため、交通安全対策や冬季道路環境の改善が必要な現状となっています。

江別駅跨線人道橋架替事業

当該人道橋は、設置後30年余りが経過し、老朽化が著しいとともに、近年の社会的要求でもある交通弱者対応が全くなされていない状況にあります。また、駅周辺の地域拠点の形成や南北交通の確保の観点からも改善が必要な現状となっています。

また、JR江別駅については、既にバリアフリー化工事を終えているところです。

○ 課題（市道の整備）

市道大麻東駅通り

大麻駅周辺を地域拠点としたまちづくりと整合を図りつつ、歩道の拡幅及び自転車レーンの設置、車道部の再整備事業を実施中です。加えて、事業効果増進の観点から、駅前広場など関連する施設の再整備も検討中ですが、現状では補助範囲の制約があるため、一般財源化への移行に際しては、地区特性を踏まえた包括交付金など、制度の創設を望みます。

市道兵村4丁目通り

用地取得により歩道拡幅整備事業を実施中であり、交通環境の充実により、安全で安心な地域環境の創出を図っています。一般財源化への移行に際しても、限定された地域の環境改善とはなりますが、整備の必要性を勘案いただき継続を希望します。

江別駅跨線人道橋架替事業

人道橋の老朽化対応としての架替に、冬季を含めた快適な移動環境の確保やバリアフリー化を検討中であり、JR江別駅のバリアフリー化と合わせた周辺施設の整備が必要となっており、さらに駅に隣接するため、交通結節性も勘案する中で地域拠点にふさわしい施設として進める予定です。よって、架替事業ではありますが、地域の振興も念頭に置いた整備の必要性や仕様を考慮いただく中で、補助事業による実施を希望します。

今後の道路行政についての意見・提案

②—1 地域の現状と抱える課題 (7/7)

様式②

北海道江別市

○ 現状（市道の維持）

市道の維持費

当市の道路に係る費用の内、約90%は、市単独費事業（補助対象外整備・再改築・道路維持費）であり、その内訳は、除排雪費が約60%、舗装の穴埋め・改修、路盤の改修に要する費用が約38%となっており、その多くが維持管理に関する経常的経費であります。

○ 課題（市道の維持）

市道の維持費

道路特定財源につきましては、国民生活や経済・社会活動を支える最も基本的なインフラである道路整備に加えて、ボトルネック踏切の解消やまちづくりなど、全ての自動車利用者の受益につながるさまざまな事業に活用されるべきと考えます。

道路特定財源を国民から徴収し、一般財源化となっても、その本質は変わりません。

国土のインフラ整備は、国民共有の財産であり、市町村道の整備・再改築・維持管理費（除排雪費を含む。）への財源化も視野に入れ、進めていただきますよう要望いたします。

今後の道路行政についての意見・提案

②—2 地域の目指すべき将来像

様式③

北海道江別市

当市は、北海道の社会・経済・文化の中心的役割を持つ道央圏の中核都市として位置付けられ、これまで、基幹産業である農業や製紙業、窯業などの産業地として、高度経済成長期以降においては、緑豊かな自然を生かした住宅都市として発展してきたところであり、併せて、道路を初めとした都市活動には欠かせない社会資本整備が進められてきたところです。

しかし一方で、近年の人口減少や経済の低迷、地方財政の悪化といった社会情勢の中、当市においても、良質な生活環境の維持・向上や自主財源の確保のための地域特性を活かした戦略的な産業振興、環境意識の高まりを受けた環境保全施策などが喫緊の課題となっています。

このため、現状課題に対応し、これからの持続可能な都市づくりに向けた理念として、市民参画のもと、活力があり安心して暮らしやすい都市環境を整備することを目指すこととし、このような理念を支える活力のある都市構造として、地区の都市機能の集積状況や交通特性などに応じた複数の拠点を育成、充実させ、これを相互に連携させた集約型都市構造を目指すこととしています。

この都市構造を支える交通施策においては、当市の優位な公共交通環境を活かし、JR駅周辺などの交通結節点整備に重点を置くことにより、環境にも配慮した過度に車に依存しない都市交通環境の実現を目指すこととしています。

また、老朽化が進む既存道路等については、計画的、効率的な再整備、充実が必要になっているため、財源の確保が前提となりますが、利用実態や土地利用などの変化を踏まえた維持・更新を進めているところです。

一方で、産業振興や物流、市民活動の広域化や多様化に対応するため、札幌市を中心とした札幌圏構成都市との生活・経済・医療・文化など多様な連携の強化による札幌圏の魅力の向上や他圏域の地方中心都市への交通アクセス性の向上が、地方分権化を前提とした自律した自治体づくりには必要不可欠となっており、道路を初めとした基盤施設整備の重点的かつ早期の整備が必要となっているところです。

なお、これらの交通施策の実現のためには、財源の確保や地域特性を活かした道路整備手法の確立が前提となりますので、交通便益の評価に加え、快適性や景観、土地利用への影響、災害時の対応など、地域の振興に資する総合的な観点を入れた評価に基づき進めることが適切と考えています。